

DICOM Color Printer

取扱説明書 2 ページ

セットアップマニュアル 32 ページ

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

本書は、取扱説明書とセットアップマニュアルの構成になっています。
取扱説明書は、日常的にプリンターをご使用になるかたのための情報が記載されています。

セットアップマニュアルは、システムを管理するかたのためのネットワークに接続するための設定についての情報が記載されています。

UP-D77MD

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。24ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

取扱説明書

目次

警告	4
注意	5

はじめに

本機の特長	11
システム構成例	11
各部の名称と働き	12
前面	12
裏面	13

準備

付属品を確認する	14
組み立てる	14
接続する	15

操作

プリントする前に	16
インクリボンカセットを取り付ける	16
プリント紙を入れる	17
プリントする	19
プリントを開始する	19
希望の色調でプリントする	20
プリント画を調整する	20
グレーを調整する	20
カラーを調整する	21

その他

本機の性能を保持するために	24
使用上のご注意	24
お手入れ	24
使えるインクリボンとプリント紙	26
主な仕様	27
保証書とアフターサービス	28
故障とお考えになる前に	28
エラーメッセージ一覧	28
つまった紙を取り除く	29
索引	31



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
日本国内では 100 V でお使いください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にてご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏蓋を開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。
内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて依頼ください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



注意

開梱・運搬時には慎重に

本機は重量があるので、本体を取り出す際や運搬時に腰を痛めるおそれがあります。



高温

プリント直後サーマルヘッドに触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があります、触れるとやけどの原因となることがあります。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



注意

クリーニングチップを口に入れない

クリーニングチップを口に入れると飲み込んで窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一飲み込んだ場合はただちに医師に相談してください。また、お客様の手の届かない所に保管してください。



注意

サーマルヘッドを固定する時はインクリボンカセットの装着口に手や指を入れない

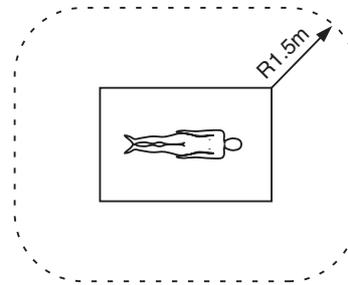
サーマルヘッドに手を挟まれて、けがの原因となることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。

患者環境にこの機器を使用することはできません。

* 患者環境。



3. あなたがこの機器に触れているときは、同時に患者に触れないでください。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
6. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。

(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class A、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- ・ UP-D77MD は、EMC に関して特に注意する必要があります。取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
- ・ UP-D77MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-D77MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション

UP-D77MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。

UP-D77MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-D77MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。 UP-D77MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス A	
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動／フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-D77MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D77MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D77MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-D77MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-D77MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考: U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D77MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D77MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	<p>携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-D77MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$ $d = 1.2 \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.5 \text{ GHz}$
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	<p>P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格（単位はワット（W））で、d は推奨距離（単位はメートル（m））です。</p> <p>電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度^aは、各周波数範囲^bにおいて適合レベル未満である必要があります。</p> <p>下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線（携帯 / コードレス）電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-D77MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-D77MD が、正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-D77MD の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となる場合があります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-D77MD との間の推奨分離距離

UP-D77MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-D77MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-D77MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

本製品またはアクセサリを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

本機の特長

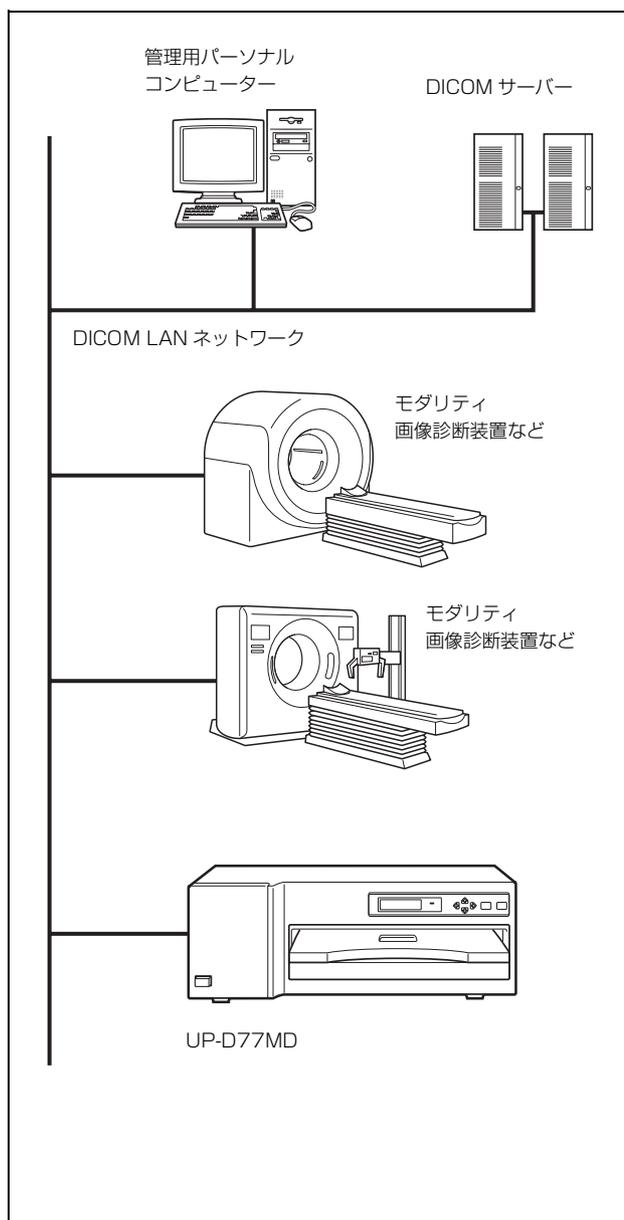
UP-D77MD は、ネットワークを介して DICOM フォーマットで送られてくるカラー画像データをプリントするための昇華型プリンターです。

UP-D77MD は、次の特長を備えています。

- ・ DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) を標準装備
- ・ LAN を介してモダリティから送られてきた DICOM フォーマットの画像データを DICOM 部で受信し、A4 版のプリント紙に配列、拡大・縮小などの処理を高速で行いプリントします。
- ・ 高画質・高解像度プリント
- ・ フルカラー (各色 256 階調処理 1670 万色) で、高解像度 (300dpi) でプリントします。

システム構成例

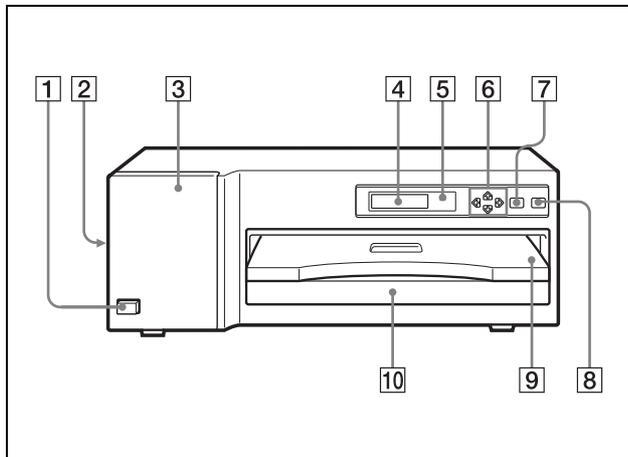
本システムは、CT、NM などの各種画像診断装置から DICOM フォーマットで送られてくるデータをプリント出力します。以下に構成例を示します。



各部の名称と働き

() 内の数字は、参照ページを示します。

前面

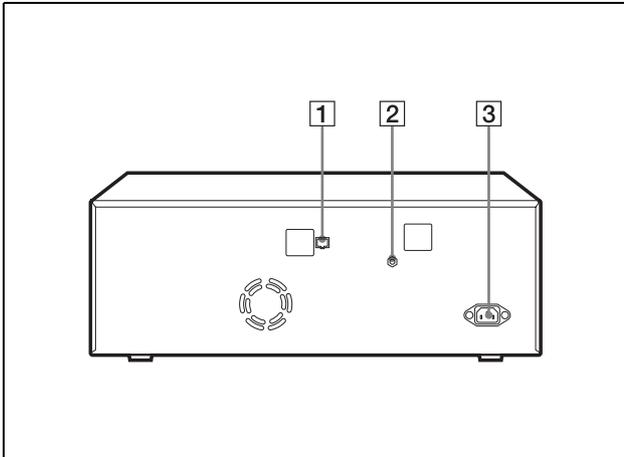


- 1** ① POWER (電源) スイッチ
プリンターの電源を ON/OFF します。
- 2** ファンカバー (14、24)
ほこりよけのカバーです。
- 3** リボンドア (16)
インクリボンカセットを入れるとき、リボンドアの上のタブを引いて開けます。
- 4** 液晶ディスプレイ (19)
通常は、本機の状態を示すメッセージを表示します。メニュー操作時は設定を、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。
- 5** ALARM (アラーム) ランプ (28)
インクリボンカセットやプリント紙がなくなったときや紙づまりなどの異常が起きたとき、オレンジ色に点灯します。
- 6** カーソル移動ボタン (20)
設定値や設定レベルを増減したり、メニューの項目を選ぶときに押します。
- 7** MENU (メニュー) ボタン (20)
プリント画の画質を調整するとき押します。押すと各メニューが液晶ディスプレイに表示されます。メニュー画面から標準画面に戻るときにも押します。
- 8** EXEC (確定) ボタン (20)
メニューの機能を実行するときに押します。

- 9** 排紙トレイ (14)
プリント画が排出されます。

- 10** 給紙トレイ (14、17)
プリント紙を入れるときに、PUSH と書いてある場所を押して給紙トレイを取り出します。

裏面



- 1 ネットワーク端子 (RJ-45 モジュージャック) (15)**
100BASE TX 方式のネットワーク接続用の端子です。

注意

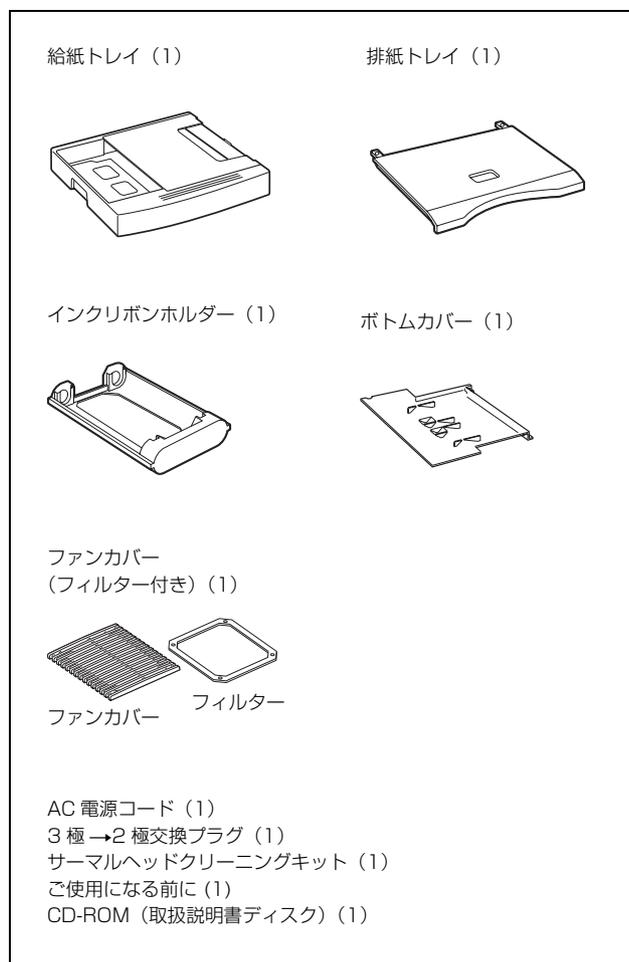
安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

- 2 等電位端子**
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。
- 3 単相交流電源入力 (電源入力) 端子 (15)**
指定の電源コードをつなぎます。

付属品を確認する

付属品を確認してください。



ご注意

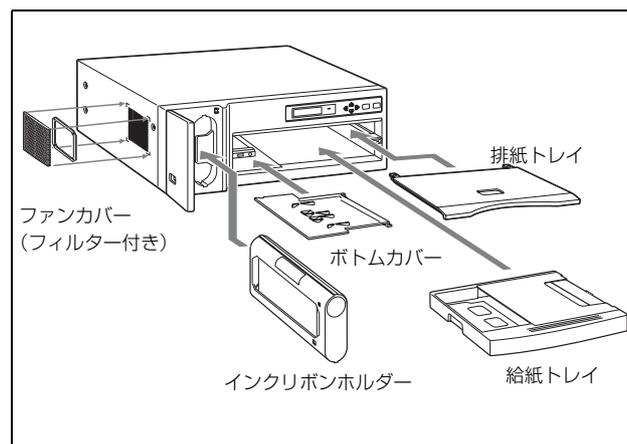
梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。

組み立てる

付属の給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンホルダー、ボトムカバー、ファンカバーを本体に取り付けます。

ご注意

プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されていますのでインクリボンホルダーが装着できません。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンホルダーを装着してください (16 ページ)。



使用上のご注意

本機はハードディスクを搭載しており、システム領域、画像データの一時保存領域に使用しています。このハードディスク装置は衝撃や振動に弱い装置です。本機を使用する際は、以下の点にご注意ください。

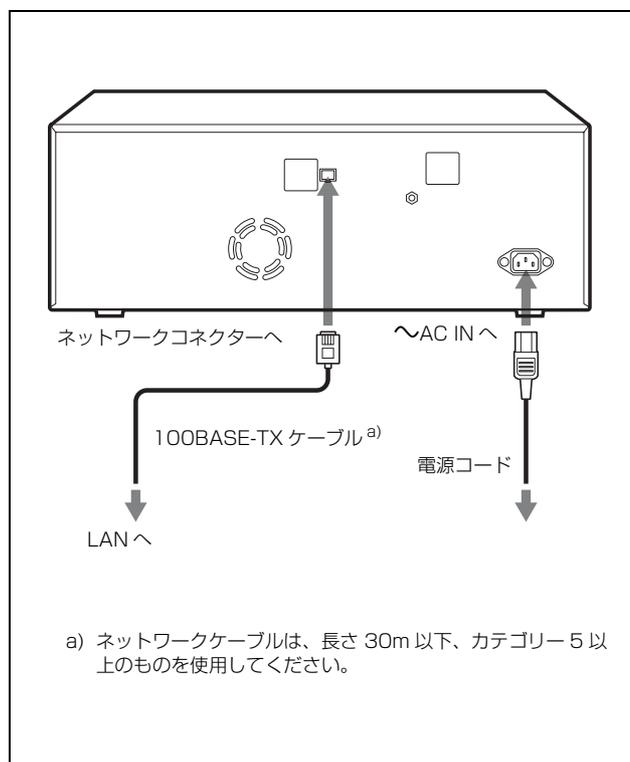
- ・ 衝撃を与えないでください。
 - ・ 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
 - ・ 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
 - ・ 印画動作中に電源を切らないでください。
 - ・ 急激な温度変化のある場所では使用しないでください
- 何らかの原因でハードディスクが故障した場合、UP-D77MD を起動できなくなることがありますのでご注意ください。

接続する

本機を、100BASE-TX の LAN に接続します。

ご注意

- ・ 本機とすべての機器を接続してから、電源コードを接続します。
- ・ LAN に接続するには、IP アドレスやネットマスクなどのセットアップをしてから、接続を行います。
セットアップについて詳しくは本書後半の「セットアップマニュアル」をご覧ください。
さらに詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。



電源について

電源コンセントが 2 芯の場合は、3 極 → 2 極変換プラグをご使用ください。

3 極 → 2 極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

プリントする前に

ここでは、プリンターの準備が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリントに必要な次の操作について説明します。

- ・ インクリボンカセットを取り付ける (下記)
- ・ プリント紙を入れる (17 ページ)

これらの操作は、日常のプリント操作前に毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・ インクリボンカセットを交換したりプリント紙を取り付ける場合は、電源を切らないでください。電源を切ると記憶した画像が消えてしまいます。
- ・ インクリボンカセットに使用するインクリボンとプリント紙はセットになっています。取り付ける前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください (「使えるインクリボンとプリント紙」 (26 ページ))。
- ・ **必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。** (「使えるインクリボンとプリント紙」 (26 ページ)) 専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

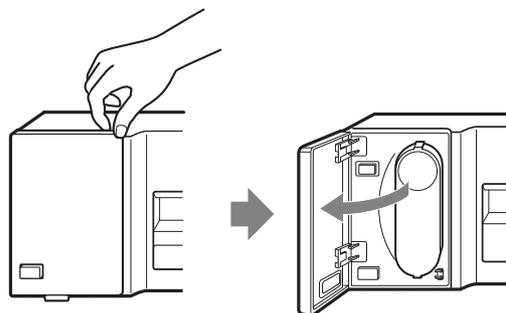
インクリボンカセットを取り付ける

付属のインクリボンホルダーに別売りのインクリボンを装着し、インクリボンカセット (インクリボンホルダーにインクリボンを装着したものを指します) をインクリボンカセット収納部に取り付けます。

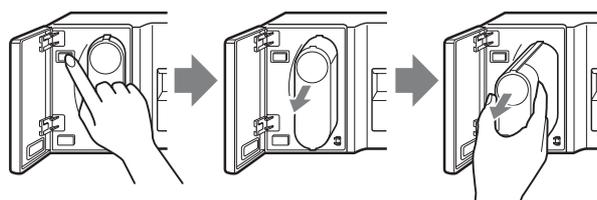
ご注意

- ・ プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されています。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンカセットを装着してください。
- ・ 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・ インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- ・ インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。

- 1 リボンドアの PULL と書いてある部分を引く。リボンドアが開きます。



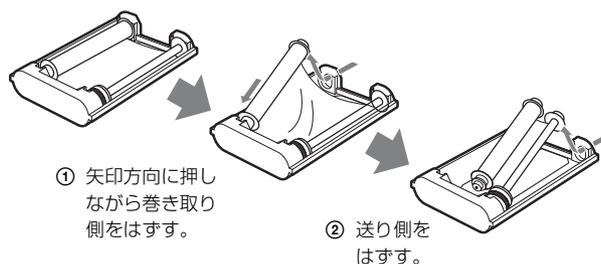
- 2 EJECT (インクリボンカセット取り出し) ボタンを押す。インクリボンカセットが出てきます。



ご注意

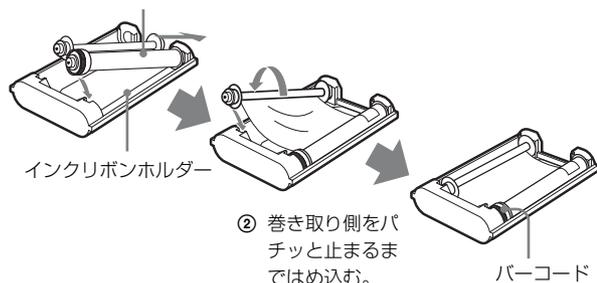
インクリボンカセット装着口の内部に手を入れないでください。中にある感熱ヘッドが熱くなっている場合があります。

- 3 使用済みのインクリボンをインクリボンホルダーから取りはずす。



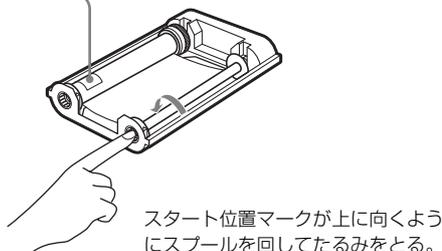
4 新しいインクリボンを、インクリボンホルダーに装着する。

① 矢印方向に押しながらインクリボンの送り側を、はめ込む。

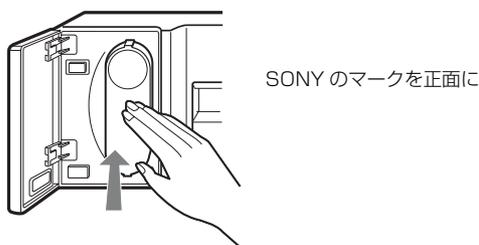


5 リボンのたるみを取る。 たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。

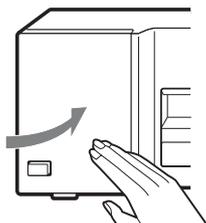
スタート位置
マーク



6 インクリボンカセットを入れ、止まるまで押し込む。

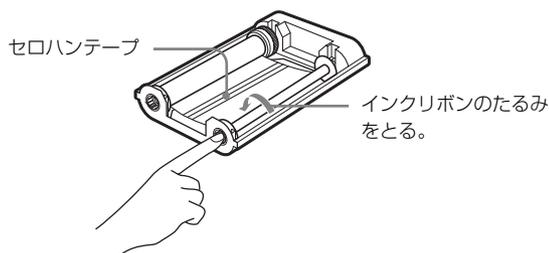


7 リボンドアを閉める。



インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



インクリボン保存上のご注意

- ・ 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・ 使用途中で長期間保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

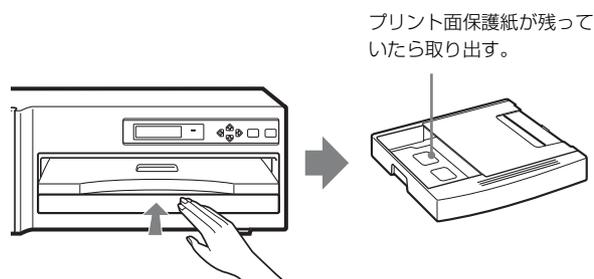
プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手を触れないように注意してください。

ご注意

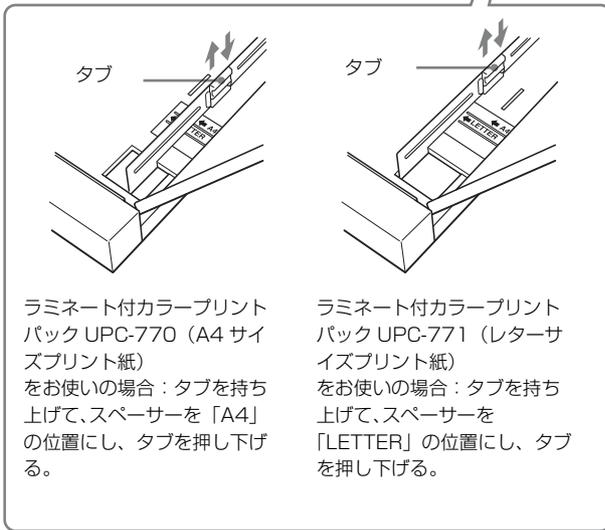
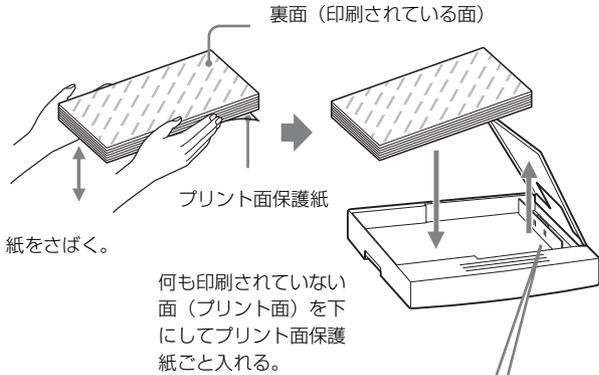
プリント紙を入れる場合は、電源を切る必要はありません。電源を切るとメモリーに記憶された画像データが消えてしまいます。

1 給紙トレイの PUSH と書いてある部分を押し、給紙トレイが取り出せます。

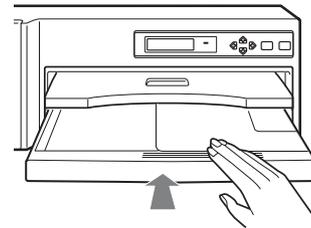


2 トレイカバーを持ち上げ、プリント紙を給紙トレイに入れる。

ご使用になるラミネート付カラープリントバックに合わせてスペーサーの位置を調節してください。



3 トレイカバーを閉じて、給紙トレイをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

プリント紙を保存するときは

- ・ 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・ 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

ご注意

1個のインクリボンでプリントできる枚数とプリント紙の枚数は同じです。通常はインクリボンとプリント紙は同時になくなりますが、どちらかが先になくなった場合もインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。プリント紙を給紙トレイに入れる場合は、以下の点に注意してください。

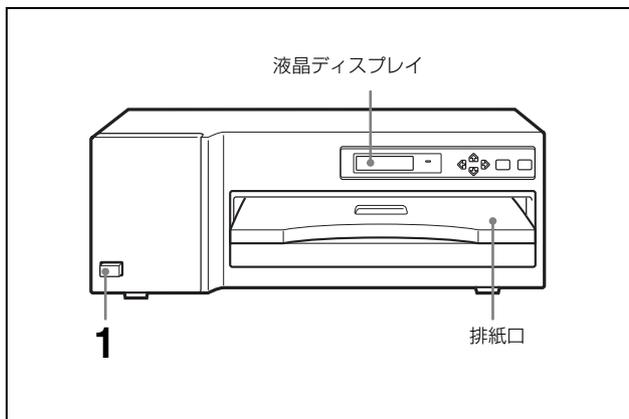
- ・ 給紙トレイに入る紙の量は72枚(1袋分)です。入れすぎると紙づまりの原因になります。また、違った種類のプリント紙を混ぜて入れないでください。
- ・ プリント紙は、インクリボンとセットになっているものを入れてください。インクリボンと異なる組み合わせのプリント紙を入れるとグレーバランスが変化する場合があります。
- ・ プリント紙が反っていたり、給紙トレイからはみ出していると、プリント位置がずれたり、紙づまりの原因になります。

プリントする

プリントを始める前に

- ・プリンターとネットワークとの接続は済んでいますか。(15 ページ)
- ・給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンカセットは正しく取り付けられていますか。(14、16、17 ページ)
- ・インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか。(26 ページ)
- ・希望の色味が呼び出されていますか。(20 ページ)

プリントを開始する



- 1 プリンターの電源スイッチを入れる。
起動中は「INITIALIZING」と表示されます。
約 2 分後、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。READY 表示が出ている間は、いつでもプリントできます。

READY
A4

プリント用紙サイズ

- 2 コンピューター（モダリティ）からプリンターに画像データを送り、プリントする。

- ① 画像データが送られてくると、次のメッセージが表示されます。

PROCESSING

- ② プリントが始まり、以下のメッセージが表示されます。

PRINTING
YELLOW

プリント過程によって色表示が変わる：
プリント開始 → YELLOW
→ MAGENTA → CYAN →
LAMI → プリント終了

- ③ 約 85 秒後（A4 サイズの場合）に排紙口からプリント画が出てきます。プリント時間は画像サイズ、インクリボン、解像度により異なります。プリントが終了と、READY 表示に戻ります。

READY
A4

ご注意

- ・プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出ししたりしないでください。
- ・排紙口には、**プリント画を 20 枚以上ためないよう**にしてください。紙づまりの原因になります。

プリントできないとき

エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されているときは、操作できません。「エラーメッセージ一覧」（28 ページ）をご覧ください。

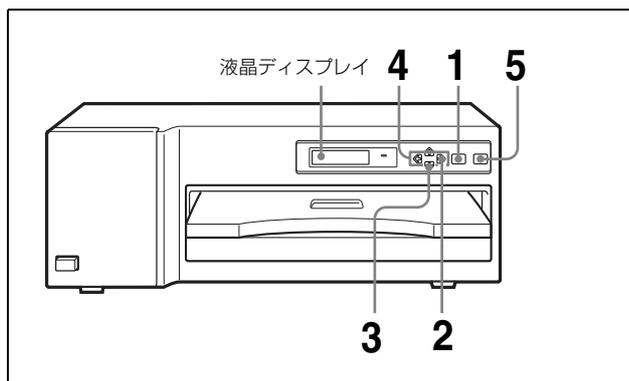
ご注意

プリント画を保存するときは

- ・直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- ・プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- ・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

希望の色調でプリントする

プリント画の色調をユーザー設定として9種類登録しておくことができます。プリントするときは、ユーザー設定番号を選ぶだけで希望通りの色味のプリント画ができます。



- 1 MENU ボタンを押す。
「INFORMATION」が表示されます。

<INFORMATION>

- 2 ⇨ ボタンを押す。
「COLOR ADJUST」が表示されます。

<COLOR ADJUST>

- 3 ⇦ ボタンを押す。
「LOAD /USER X/」が表示されます。

LOAD USER 1/
[EXEC]

- 4 ⇦、⇨ ボタンで希望のユーザー設定を選ぶ。

LOAD/USER 3/
[EXEC]

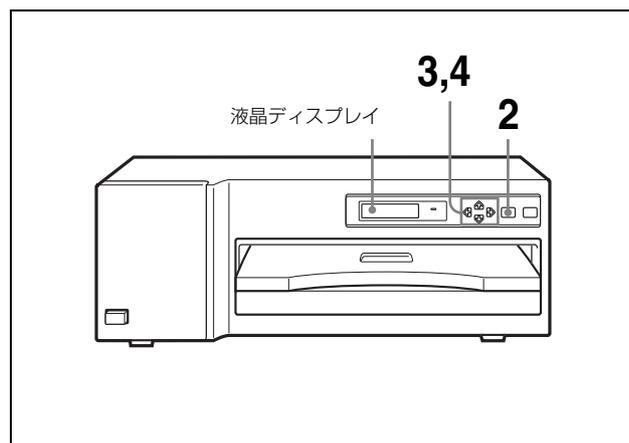
⇦、⇨ ボタンを押して希望のユーザー設定を表示させる

- 5 EXEC ボタンを押す。
手順4で選んだユーザー設定が確定します

プリント画を調整する

プリント画のグレーを調整し、調整したグレーを基調に、好みのカラーの色味を選択し、調整し、その調整内容を9種類まで登録しておくことができます。登録した設定は、電源を切っても変わりませんので、日常プリンターを使用するときは、ユーザー設定を選ぶことでプリンターを使うかたの好みに合わせたグレーとカラーでプリントすることができます。また、呼び出したユーザー設定の設定値を変更した場合、プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たにユーザー設定を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。

グレーを調整する



- 1 グレーの部分が多い画像データをプリントする。フル画面のプリント画を確認用にお使いになることをお勧めいたします。分割画面のプリント画ですと、色味の確認が難しくなります。プリント画を見て、グレーの部分进行调整したい場合、次の手順に進んでください。グレーの部分に満足している場合は、「カラーを調整する」(21 ページ)に進んでください。

- 2 MENU ボタンを押す。
「INFORMATION」が表示されます。

<INFORMATION>

- 3 ⇨ ボタンを押してプリント画調整メニュー「COLOR ADJUST」を表示させる。

<COLOR ADJUST>

4

グレーを調整する。
 グレーを調整すると、カラーも一緒に調整されます。
 しかし、手順4では、まずグレーの色を調整し確定し
 ます。カラーについては、次の手順で調整します。



- ① ◀、▶ ボタンを押して調整する項目を選びます。
 ▶：次の項目が表示されます。
 ▶：前の項目が表示されます。
- ② ◀、▶ ボタンを押して調整します。
 色調の CYN-RED、MAG-GRN、YEL-BLU、階調の DARK、LIGHT、GAMMA は、- 32 から + 32 までの 65 段階で調整できます。数値の 0 が標準です。
 ▶：数値が大きくなります。(+ 32 まで)
 ▶：数値が小さくなります。(- 32 まで)
 ボタンを押しつづけると、数値は速く切り換りま
 ず。

色調の調整

調整する項目	プリント画の色調	押すボタン
CYN-RED	赤味がかかった色にする。	▶
	シアン（水色）がかかった色にする。	▶
MAG-GRN	緑がかかった色にする。	▶
	マゼンタ（ピンク）がかかった色にする。	▶
YEL-BLU	青味がかかった色にする。	▶
	黄色味がかかった色にする。	▶

階調の調整

調整する項目	プリント画の階調
DARK	黒い部分を調整する。
LIGHT	明るい部分を調整する。

トーンの調整

調整する項目	プリント画のトーン
GAMMA	中間層の濃度を調整する。

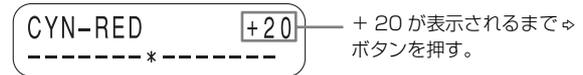
画像の輪郭の調整

調整する項目	調整
SHARPNESS	輪郭を強調する度合いを調整する。

SHARPNESS は、0 ~ 3 の 4 段階で調整します。

例：CYN-RED を RED 方向に + 20 に設定する
 場合

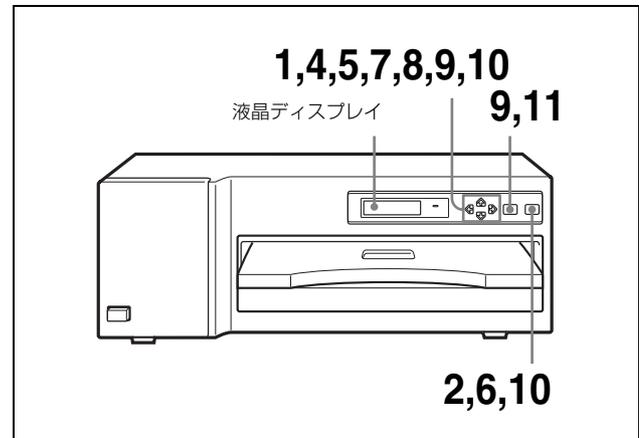
+ 20 が表示されるまで ▶ ボタンを押します。



- ③ 手順 ①、② を調整したら、MENU ボタンを押して調整モードから抜ける。
- ④ 再度プリントする。
 好みのグレーが出るまで、調整を繰り返してください。好みのグレーに調整できたら、次のカラーを調整します。

カラーを調整する

グレーの調整が済んだら、カラーの調整を行います。
 調整を始める前に、調整したいカラーを含んだフル画面の画像データをプリントする。

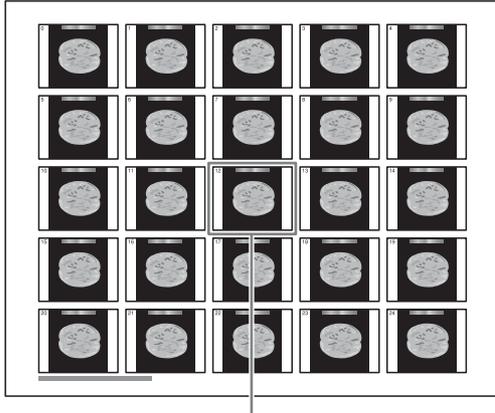


- 1 ▶、▶ ボタンを押して「PRINT PATCH」を表示させる。



- 2 EXEC ボタンを押す。
 1 枚のプリント紙に縮小された画像が 25 個プリントされているパッチプリント画が排出されます。

グレーは全て同じ（「グレーを調整する」（20 ページ）で調整されたグレー）で、カラーがそれぞれ異なります。



「グレーを調整する」（20 ページ）調整されたグレーとカラーの調整値で印刷されている。

- 3 パッチプリント画を見ながら、カラーバランスが最適と思われるものをパッチプリント画の中から選ぶ。
- 4 ◀、▶ ボタンを押して「SEL PATCH」を表示させる。

SEL PATCH 12
[EXEC]

- 5 ◀、▶ ボタンを押して手順 3 で選んだパッチプリント画の番号を表示させる。

SEL PATCH 15
[EXEC]

→ 手順 3 で選んだ番号が表示されるまで ◀、▶ ボタンをおす。

- 6 EXEC ボタンを押す。
「グレーを調整する」（20 ページ）で調整したグレーは変わらず、カラーバランスは、手順 3 で選んだカラーに設定されます。
手順 3 で選んだカラーバランスで満足の場合は、手順 10 に進む。
さらに、色相、彩度、明度を調整したい場合は、次に進んでください。

- 7 ▶ ボタンを押して「ADVANCED」を表示させる。

ADVANCED [▶]

- 8 ▶ ボタンを押して、「STANDARD」を表示させる。

STANDARD [◀]

- 9 色相、彩度、明度を調整する。
 - ① ◀、▶ ボタンを押して調整する項目を選びます。
▶：次の項目が表示されます。
◀：前の項目が表示されます。
 - ② ◀、▶ ボタンを押して調整します。
- 32 から + 32 までの 65 段階で調整できます。
数値の 0 が標準です。

調整する項目	プリント画の階調
HUE	色相を調整する。
SATURATION	彩度を調整する。
VALUE	明度を調整する。

- ③ 色相、彩度、明度を調整し終わったら、MENU ボタンを押してカラー調整モードから抜ける。再度プリントして調整結果を確認する。

調整結果が満足のいくものだった場合

プリンターを「グレーを調整する」（20 ページ）の手順 2、3 の操作で、再度メニューモードに戻します。プリンターは、たとえ電源を切っても今までの調整結果を保持していますので、調整結果をユーザー設定として登録します。

- 10 今までの調整値をユーザー設定として登録する。

- ① ◀、▶ ボタンを押して「SAVE /USER X/」を表示させる。

SAVE USER 1/
[EXEC]

- ② ◀、▶ ボタンを押して、希望のユーザー番号を表示させる。

SAVE /USER 3/
[EXEC]

→ 希望のユーザー番号が表示されるまで ◀、▶ ボタンをおす。

- ③ EXEC ボタンを押す。
手順 ② で選んだユーザー設定番号に、「グレーを調整する」（20 ページ）で調整したグレーと、本項「カラーを調整する」（21 ページ）で調整値が登録されます。プリンターはこの後、ユーザー設定番号を選び直さない限りこのユーザー設定値で動作します。また現在使用しているユーザー設定値を修正した場合、他のユーザー設定を選ばない限り、修正した値でプリンター

は動作します。この設定は、電源を切っても保持されます。

- 11** MENU ボタンを押して、調整メニューを解除する。
「READY」表示に戻ります。



本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2ページ)、「 警告」(4ページ)、「 注意」(5ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間で使用にならないときは

- ・ 本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、付属品をはずし、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品をつけたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

- 1 インクリボンカセットと給紙トレイを取りはずす。
- 2 内部のサーマルヘッドを固定する。
 - ① プリンターの電源スイッチを入れる。
 - ② MENU ボタン、、 ボタンを同時に押し、2秒押し続ける。
 - ③ 電源スイッチを切る。

ご注意

サーマルヘッドを固定する時はインクリボンカセットの装着口に手や指を入れないでください。サーマルヘッドに手を挟まれて、けがの原因になることがあります。

結露について

- ・ 温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちだめた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

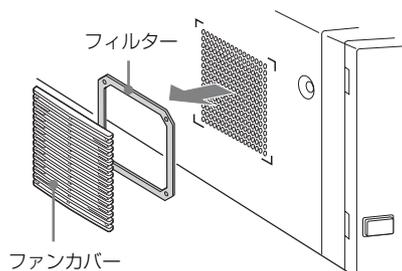
キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと乾いた布でからぶきしてください。

シンナーやベンジン、無水アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

フィルターを掃除するには

本機の側面と後面には通風孔があります。液晶ディスプレイに CLEAN FAN FILTER というメッセージが現れたら、左側面のフィルターを掃除してください。

- 1 ファンカバーをはずしフィルターを取り出す。

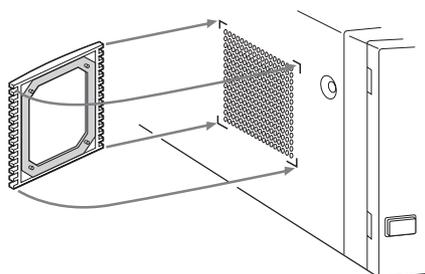


- 2 ほこりを掃除機などで吸い取る。

ご注意

- ・ フィルターを掃除機に吸い込まれないようにしてください。
- ・ フィルターの網を強くこすらないでください。

- 3 フィルターを元に戻し、ファンカバーを本体に取り付ける。



サーマルヘッドのクリーニングについて

次のような場合に、サーマルヘッドクリーニングキット（付属）を使用してサーマルヘッドのクリーニングをしてください。

- ・プリント画に白い長手方向の筋が発生したとき
- ・プリント画に引っかき傷が発生したとき

白いチップと黒いチップの使い分け

白いチップは、スポンジでヘッドの塵を拭き取ります。黒いチップは、研磨剤付のスポンジでヘッドの塵を削り取ります。

次の場合は白いチップを使ってください

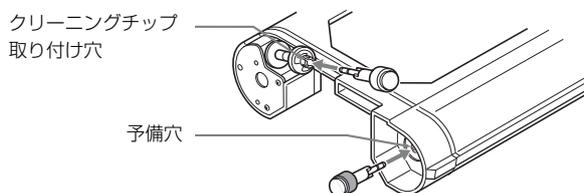
- ・プリント画にヘッドの塵による白い線が発生したとき
- ・予防的な、日常のクリーニング

次の場合は黒いチップを使ってください

- ・プリント画の周囲の余白には引っかき傷は出ていないが、プリント画には引っかき傷が発生したとき
- ・白いチップを使ったクリーニングで、効果が無かったとき
- ・定期的なクリーニング

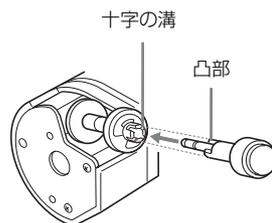
サーマルヘッドをきれいな状態に保つために、月に1度（またはプリント500枚ごとに）、サーマルヘッドをクリーニングすることをお奨めいたします。

白いチップはクリーニングチップ取り付け穴へ、黒いチップは予備穴へ取り付けると便利です。



チップの取り付け

- 1 クリーニングチップの取り付け穴の十字状の溝にチップの凸部を合わせる。

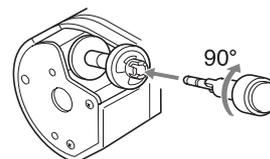


- 2 カチッと音がするまで、チップを取り付け穴の奥へしっかりと押し込む。

チップの回転と効果

チップのクリーニング効果は、白いチップはクリーニング30回程度、黒いチップの場合は1回のクリーニングで、使用効果が薄れてきます。この場合には、次のようにチップを回転させると、新しい部分でクリーニングができるようになります。

チップを一旦取り付け穴から引き抜き、90°回転させてから、再度取り付けます。



一つのチップで4回新しい面を使用することができます。4面とも使用した場合は、新しいチップと交換してください。

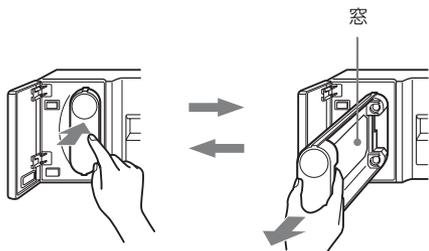
交換用チップセットの品番 A-8279-104（有料）

サーマルヘッドのクリーニング

次の手順でクリーニングしてください。

- 1 プリンターからインクリボンホルダーを取り出す。
- 2 インクリボンホルダーを入れる要領で、チップを付けたクリーニングキットをプリンターへ装着する。

- 3 クリーニングキットを、奥まで押し込み、次に、クリーニングキットの窓が全部見えるまで、クリーニングキットを引き出す。この動作を約3回繰り返す。



サーマルヘッドのクリーニングは終了しました。

- 4 プリンターからクリーニングキットを取り出し、インクリボンホルダーを取り付ける。

ご注意

- ・ チップに水や無水アルコールなどを付けしないでください。これらのものをつけたチップでクリーニングすると、サーマルヘッドの性能を損なうことがあります。
- ・ 黒いチップでクリーニングする場合は、クリーニングホルダーの抜き差しをやりすぎると、ヘッドの寿命を短くする場合がありますのでご注意ください。
- ・ クリーニングチップを口に入れないでください。また、お子様の手の届かない所に保管してください。

使えるインクリボンとプリント紙



再使用禁止

動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

セルフラミネーティングプリントパック UPC-770

ラミネーション用のインクリボン1巻とA4サイズのプリント紙が72枚入っています。

セルフラミネーティングプリントパック UPC-771

ラミネーション用のインクリボン1巻とレターサイズのプリント紙が72枚入っています。

ご注意

- ・ **必ず専用のプリント紙とインクリボンをお使いください。** 専用以外のものを使用すると、きれいなプリントができないばかりでなく、故障の原因となる場合があります。
- ・ インクリボンとプリント紙は、1回使い切りタイプです。ご使用後は、新しいものに交換してください。

主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
入力電流	3.5 A
動作温度	10℃～30℃
動作湿度	20%～80%（ただし結露がないこと）
動作気圧	700 hPa～1,060 hPa
保管／輸送温度	-20℃～+60℃
保管／輸送湿度	20%～90%（ただし結露がないこと）
保管／輸送時気圧	700 hPa～1,060 hPa
最大外形寸法	約493.8×176×468.8 mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず。
質量	約21 kg
プリント方式	昇華熱転写型、YMC 3色重ね印画
感熱ヘッド	11.8ドット/mm、2560ドット（300 dpi）
プリント階調	各色256階調処理（イエロー、マゼンタ、シアン）
最大プリントサイズ	A4サイズ：271.6×203.2 mm レターサイズ：254.0×203.2 mm
プリント画素数	A4サイズ：3208ドット×2400ドット レターサイズ：3000ドット×2400ドット
プリント時間	約85秒（A4サイズ）
インターフェース	ネットワークポート×1（RJ-45 モジュラージャック）、100BASE-TX 対応
付属品	インクリボンホルダー（1） 給紙トレイ（1） 排紙トレイ（1） ファンカバー（1） ボトムカバー（1） サーマルヘッドクリーニングキット（1） ご使用になる前に（1） CD-ROM（取扱説明書ディスク）（1） AC電源コード（1） 3極→2極変換プラグ（1）
別売り品	インクリボン／プリント紙 セルフラミネーティングプリントパック UPC-770 セルフラミネーティングプリントパック UPC-771

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：
クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0級（特に保護がされていない）

可燃性麻醉剤の点火の危険に対する保護：

空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻醉薬混合物があるときは使用に適していません。

作動モード：

連続

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

SOP クラスの適合表

SOP クラス名	SOP クラス UID
Verification SOP Class	1.2.840.10008.1.1
Basic Color Print Management Meta SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.18
Basic Film Session SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.1
Basic Film Box SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.2
Basic Color Image Box SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.4.1
Print SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.16
Basic Annotation Box SOP Class	1.2.840.10008.5.1.1.15

- ・ お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- ・ 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因/処置
液晶ディスプレイに何も現れない。	POWER スイッチが入っていません。 →POWER スイッチを入れます。(12 ページ)
	電源の接続が正しくされていません。 →接続を確認します。(15 ページ)
プリントできない。	画面にエラーメッセージが出ています。 →「エラーメッセージ一覧」に従って処理します。(28 ページ)
	インクリボンカセットとプリント紙が入っていません。 →インクリボンカセットとプリント紙を入れてください。(16、17 ページ)

エラーメッセージ一覧

異常が起こると、本機前面の ALARM ランプが点灯し、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

メッセージ	意味/対策
END OF RIBBON	インクリボンがなくなりました。 →新しいインクリボンと交換してください。(16 ページ)
HEAD IN COOLING	感熱ヘッドの温度が上昇しました。 →メッセージが消えるまでお待ちください。連続プリント中は、ヘッドが冷えメッセージが消えてから、プリントが再開されます。
HEAD IN HEATING	感熱ヘッドを予熱中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。ヘッドが予熱されメッセージが消えてから、プリントが開始されます。
NO RIBBON	インクリボンカセットが正しく本体に差し込まれていません。 →インクリボンをインクリボンホルダーに装着し、差し込んでください。(16 ページ)
NO IMAGE DATA	プリンターにバッチプリント用の画像データが記憶されていません。 →調整モードで EXEC ボタンを押してバッチプリントする前に、1 度コンピュータから画像データを転送してプリントしてください。(21 ページ)

メッセージ	意味/対策
NO PAPER	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント紙がなくなりました。 → プリント紙を入れてください。(17 ページ) ・ ご使用のプリントパックに合わせて、給紙トレイのスペーサーの位置が正しく設定されていません。 → 正しい位置に設定してください。(18 ページ)
PLEASE WAIT	<p>時間のかかる処理をしています。 → しばらくお待ちください。</p>
REMOVE PAPER AND PRESS [⇨]	<p>紙づまりが起きました。 → つまった紙を取り除き ⇨ ボタンを押してください。(29 ページ)</p>
RIBBON ERROR	<p>インクリボンに異常が起きました。 → インクリボンが切れていないか、また、インクリボンとトレイが正しく装着されているか確認してください。(14、16、17 ページ) → 使用しているプリントパックが、UPC-770 または UPC-771 であるか確認してください。(26 ページ)</p>
MECHA TROUBLE	<p>プリンターに異常が起きました。 → 電源を切り、その後再度電源スイッチを入れると操作できるようになります。この方法で対処してもメッセージが消えず、再度本メッセージが表示された場合は、電源を切り、お近くのソニーサービス窓口にご連絡ください。</p>

つまった紙を取り除く

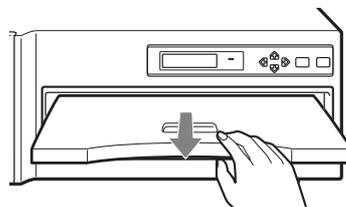
PRINT ボタンを押した後、プリントが始まる前またはプリント中に紙づまりが起きると、「REMOVE PAPER AND PRESS [⇨]」というエラーメッセージが現われ、プリントは止まります。

次の手順で、排紙口、給紙トレイ内、給紙トレイの下の3箇所を確認し、つまっている紙を取り除きます。

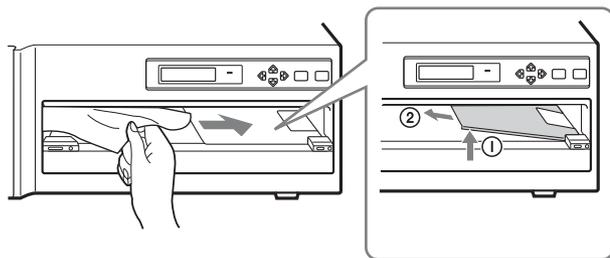
ご注意

次の操作中、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようご注意ください。

- 1 排紙トレイを取り出す。
プリント済みのプリント紙が排紙トレイの上にあるときは、排紙トレイを取り出す前にプリント済みプリント紙を取り出してください。



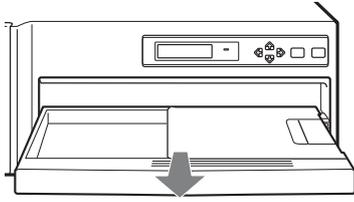
- 2 排紙口にプリント紙が見えているときは、まっすぐ右方向にゆっくり取り出す。
給紙トレイ内に給紙途中で止まっている紙があれば、右方向にずらして取り除きます。
給紙トレイカバーがじゃまになるときは、カバーをはずします。



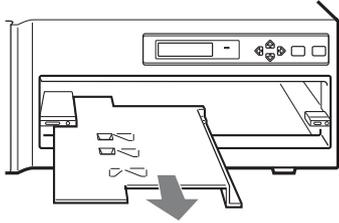
トレイカバーをはずすには、トレイカバーを①のように持ち上げてから、②の方向にひっぱる。

- 3 給紙トレイの PUSH の部分を押し。

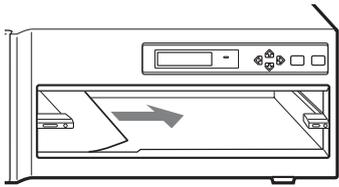
給紙トレイを取り出せます。



4 ボトムカバーをはずす。

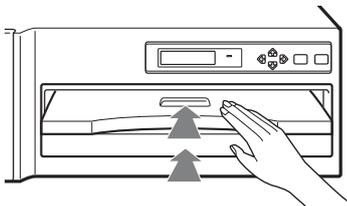


5 底の部分にプリント紙がある場合は、取り除く。



6 プリント紙を正しくセットする。
手順2と5で取り除いたプリント紙は使用しないでください。

7 ボトムカバーを取り付け、排紙トレイ、給紙トレイを差し込む。



8 ⇨ ボタンを押す。
エラーメッセージが消え、READY表示に戻ります。

液晶ディスプレイの表示



索引

あ

アフターサービス	28
安全のために	2

い

インクリボン	16, 26
インクリボンカセット	16
取り出しボタン	16
取り付け	16
インクリボンホルダー	16

え

エラーメッセージ	28
----------	----

お

お手入れ	24
主な仕様	27

か

各部の名称と働き	
裏面	13
前面	12
紙づまり	29

き

給紙トレイ	14, 17
-------	--------

く

組み立て	14
クリーニング	
キャビネット	24
フィルター	24

け

結露	24
----	----

し

システム構成例	11
仕様	
電源	27
プリントサイズ	27
使用上のご注意	24
警告	4
注意	5

せ

性能の保持	
キャビネットが汚れたら	24
結露	24

使用上の注意	24
接続	15

つ

通風孔	24
使えるインクリボンと プリント紙	26
つまった紙を取り除く	29

て

電源	27
----	----

ふ

ファンカバー	14, 24
フィルター	14, 24
付属品を確認する	14
プリント画の保存上のご注意	19
プリント画を調整する	20
COLOR	21
プリント紙	26
入れる	17
プリント面	18
プリント面保護紙	18
保存上のご注意	18
プリントする	19
プリントできないとき	19
プリントパック	26
プリント面	18
プリント面保護紙	18

ほ

保証書	28
ボトムカバー	14, 30
本機の特長	11

ゆ

輸送時の注意	24
--------	----

り

リボンドア	16
-------	----

A

ALARM ランプ	28
-----------	----

C

COLOR	21
-------	----

E

EJECT ボタン	16
END OF RIBBON	28

G

GREEN	21
-------	----

H

HEAD IN COOLING	28
HEAD IN HEATING	28

M

MECHA TROUBLE	29
MENU ボタン	20

N

NO IMAGE DATA	28
NO PAPER	29
NO RIBBON	28

P

PLEASE WAIT	29
-------------	----

R

RED	21
REMOVE PAPER AND PRESS [⇄]	29
RIBBON ERROR	29

S

SOP クラス適合表	27
------------	----

セットアップ マニュアル

目次

準備

概要	33
必要な機器	33
IP アドレスについて	34

セットアップ

設定用パーソナルコンピューターの準備	35
セットアップ画面について	35
セットアップ画面を開く	35
ページ画面の構成	36
セットアップを行う	38
メールを設定する	39
セットアップ完了後の動作確認	40

概要

セットアップマニュアルは、システムを管理する方のためのネットワークに接続するための設定、および IP アドレスなどの再設定についての情報が記載されています。本書は、セットアップ操作を行うための準備、各設定画面の概要、IP アドレス関連の設定、エラーが発生したときにメールを自動的に送るための設定の方法などを説明しています。

必要な機器

セットアップを行うには、次の機器およびブラウザが必要です。

- ・ コンピューター：UP-D77MD のネットワーク端子に接続できるコンピューター
- ・ オペレーティングシステム^{a)}：Microsoft Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、または Windows XP
- ・ LAN ネットワークケーブル：100BASE-TX クロスケーブル
- ・ Web ブラウザーソフト：Internet Explorer^{a)} 5.5 以上、または Netscape^{a)} 4 以上
Web ブラウザーソフトを以下の設定にしてください。
「プロキシなし」
Web ブラウザーの起動時に「空白ページ」が開くようにする。

- a) Microsoft、Windows、Windows NT は、および Internet Explorer は米国その他の国で登録されたマイクロソフト社の登録商標です。
Netscape および Netscape Navigator は米国その他の国で登録された Netscape Communications Corporation の登録商標です。

IP アドレスについて

ご購入後初めて本機をご使用になるとき、LAN ネットワークに接続するために、IP アドレスの設定など、プリンター内部にある DICOM 部のセットアップが必要になります。

セットアップを始める前に、ネットワーク管理者に次のことを確認してください。

- ・ ネットワーク上で、UP-D77MD が使用する IP アドレス
- ・ ネットワークのサブネットマスク
- ・ ネットワークにゲートウェイがある場合は、そのアドレス

IP アドレスの確認について

すでに UP-D77MD に割り当てられている IP アドレスを確認できます。

- 1** UP-D77MD の電源を入れる。
- 2** MENU ボタンを押す。
- 3** ⇐、⇒ ボタンを押し、液晶ディスプレイに「INFORMATION」を表示させる。
- 4** ⇐、⇒ ボタンを押し、液晶ディスプレイに「IP ADDRESS」を表示させる。
UP-D77MD に割り当てられている IP アドレスが表示されます。

セットアップ

設定用パーソナルコンピュータの準備

- 1 設定用コンピュータを起動する。
- 2 TCP/IP 設定画面を表示させる。
- 3 設定用パーソナルコンピュータの IP アドレスおよびネットマスクを入力する。
設定用パーソナルコンピュータの IP アドレス：
NNN.NNN.NNN.nnn を入力する。
NNN.NNN.NNN.NNN：ネットワーク上で UP-D77MD が割り当てられている IP アドレス
nnn：任意の数字（1～254、UP-D77MD の IP アドレスの 4 番目の NNN と一致しないこと）
サブネットマスク：255.255.255.0 を入力する。
- 4 設定用コンピュータを再起動する。
- 5 ネットワーククロスケーブルで UP-D77MD と設定用パーソナルコンピュータを接続する。

セットアップ画面について

設定用パーソナルコンピュータの Web ブラウザー画面に表示されるセットアップ画面で UP-D77MD の設定を行います。

セットアップ画面には、以下のページがあります。

- ・ Summary/Print Job ページ
UP-D77MD の概要を表示します。
- ・ DICOM Settings ページ
IP アドレス、DICOM AE タイトルなどを設定します。
- ・ Printer Status ページ
UP-D77MD の状態を表示します。
- ・ E-Mail Settings ページ
メール関係の設定を行います。

セットアップ画面を開く

- 1 設定用パーソナルコンピュータを起動し、Web ブラウザーソフトを起動する。
- 2 <http://NNN.NNN.NNN.NNN> を入力する。
NNN.NNN.NNN.NNN：UP-D77MD に割り当てられている IP アドレスです。

ページ選択エリア

SONY

FilmStation

Summary / Print Job

DICOM Settings

Primary Printer Status

Secondary Printer Status

E-Mail settings

DICOM Settings

This page allows you to setup (IP address and DICOM AE title(s) of the printer(s).

TCP/IP

Setup Software Version Ver 02-30

IP Address 192.168.1.100

Sub-net Mask 255.255.255.0

Default Gateway

Default Gateway is optional and can be left blank, if it does not exist in the network.

Primary Printer

DICOM Software Version Ver 02-40

DICOM Software Serial # 2000000630

AE Title SONY

Port ID 104

Status Print service started

Communication Log Record Log

This AE Title is required. The maximum length is 16 characters. The AE Title must be unique within the same network.

Secondary Printer (Optional)

DICOM Software Version Ver 02-40

DICOM Software Serial # 20000310630

AE Title COLON

Port ID 4104

Status Fatal Error: Unable to open printer

Communication Log Record Log

With the above AE Title left blank, both primary and secondary printers share the same AE Title specified for the primary printer. If valid AE Title for the secondary printer is specified, two printers operate independently.

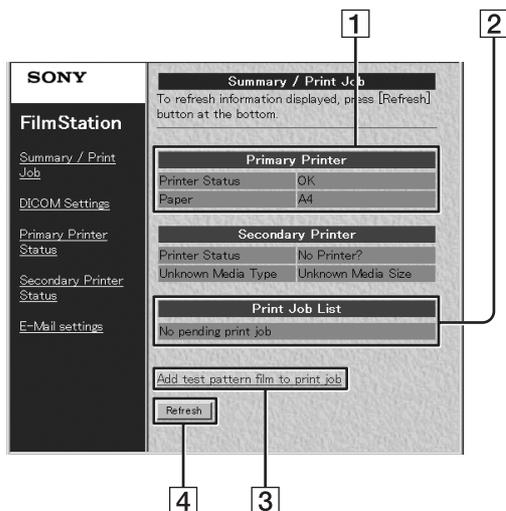
Save settings

- 3 ページ選択エリアで希望のページをクリックする。

ページ画面の構成

Summary/Print Job ページ

UP-D77MD の情報を表示します。



1 Printer (プリンター状態) 表示部

Printer Status : プリンターの状態を表示します。
Paper : 使用しているプリント紙を表示します。
A4 : 使用しているプリント紙のサイズ (A4) を表示します。A4サイズ、レターサイズ共に表示は「A4」になります。

2 Printer Job List 表示部

プリント待ちのジョブがあると表示されます。

3 Add test pattern film to print job

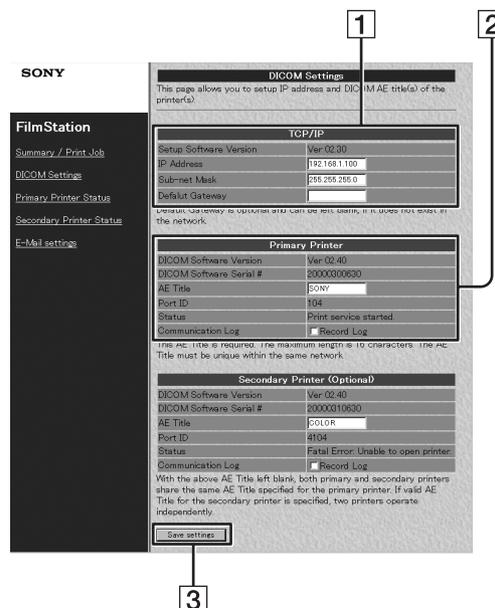
押すと、テストパターンがプリントされます。

4 Refresh ボタン

押すと、画面を最新情報に更新します。

DICOM Settings ページ

IP アドレス、DICOM AE タイトルなどを設定します。



1 TCP/IP 部

Setup Software Version : セットアップ画面のバージョンを表示します。
IP Address : IP アドレスを設定、表示します。
Sub-net Mask : サブネットマスクを設定、表示します。
Default Gateway : デフォルトゲートウェイを設定、表示します。

2 Printer 部

DICOM Software Version : DICOM ソフトウェアのバージョンを表示します。
DICOM Software Serial # : DICOM ソフトウェアのシリアル番号を表示します。
AE Title : AE タイトルを設定、表示します。
Port ID : ポート番号を表示します。
Status : DICOM ソフトウェアの状態を表示します。
Communication Log : チェックを入れると通信ログが記録されます。

3 Save settings ボタン

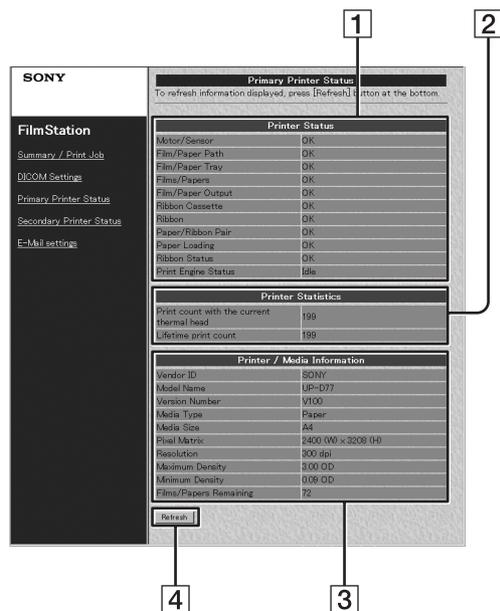
押すと、本ページで行った設定がプリンターへ保存されます。押さずにページを変えると変更が失われます。

ご注意

「Secondary Printer (Optional)」部は、現在使用されていません。

Printer Status ページ

UP-D77MD の状態を表示します。



1 Printer Status 表示部

- Motor/Sensor : モーター／センサー系のエラーの状態を表示します。
- Film/Paper Path : 印画パスにプリント紙がつかまっているかどうかを表示します。
- Film/Paper Tray : UP-D77MD では、常に「OK」を表示します。
- Films/Papers : 給紙トレイ内のプリント紙の有無を表示します。給紙トレイが装着されていない場合もプリント紙無しとして「Empty」を表示します。
- Film/Paper Output : UP-D77MD では常に OK を表示します。
- Ribbon Cassette : インクリボンホルダの装着状態を表示します。
- Ribbon : インクリボンに残量があるかを表示します。
- Paper/Ribbon Pair : UP-D77MD では、常に「OK」を表示します。
- Paper Loading : UP-D77MD では、常に「OK」を表示します。
- Ribbon Status : 正しいインクリボンが装着されているかを表示します。
- Printer Engine Status : プリンターの動作状態（アイドリング。プリント中など）を表示します。

2 Printer Statistics 表示部

- プリンターの総プリント枚数を表示します。
- Print count with the current thermal head : サーマルヘッド交換後の総プリント枚数を表示します。

Lifetime print count : プリンター出荷後からの総プリント枚数を表示します。

3 Printer/Media Information 表示部

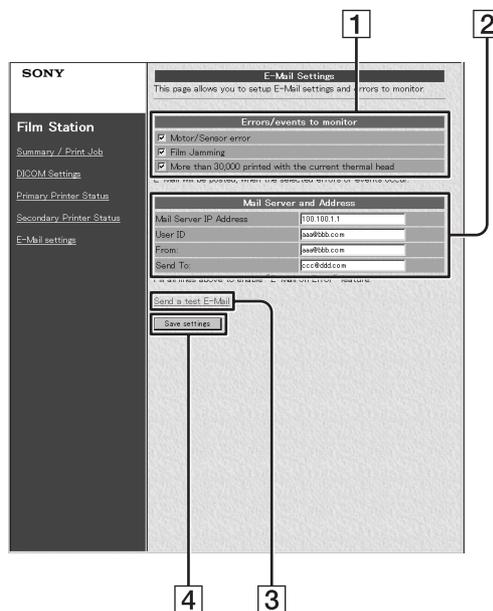
- Vendor ID、Model Name、Version Number、Media Type、Media Size、Pixel Matrix、Resolution、Maximum Density、Minimum Density : プリンターの各種情報を表示します。
- Film/Paper Remaining : UP-D77MD では、常に「Unknown」を表示します。

4 Refresh ボタン

押すと、画面を最新情報に更新します。

E-Mail Settings ページ

メール関係の設定を行います。



1 Errors/events to monitor 設定部

メール発信の条件を設定します。

2 Mail Server and Address 設定部

メールの設定を行います。

3 Send a test E-Mail ボタン

押すとテストのためにメールが発信されます。

4 Save settings ボタン

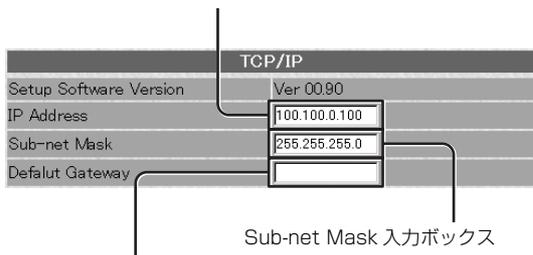
押すと、本ページで行った設定がプリンターへ保存されます。押さずにページを変えると変更が失われます。

セットアップを行う

UP-D77MD をネットワーク上で初めて使用する時、または UP-D77MD に割り当てられている IP アドレスが変更になったときなどに、DICOM Settings ページで以下の設定を行います。

- 1 DICOM Settings ページを開く。
開きかたについては、「セットアップ画面を開く」(35 ページ) をご覧ください。
- 2 TCP/IP 関連の必要な設定を行う。

IP Address 入力ボックス

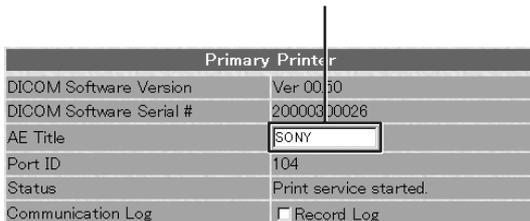


Default Gateway 入力ボックス

- ① ネットワーク上の UP-D77MD の IP アドレスを IP Address テキスト入力ボックスに入力する。
- ② サブネットマスクを Sub-net Mask 入力ボックスに入力する。
- ③ デフォルトゲートウェイがネットワーク上に存在する場合は、デフォルトゲートウェイの IP アドレスを Default Gateway テキスト入力ボックスに入力する。

- 3 DICOM AE タイトルを AE Title テキスト入力ボックスに入力する。
最大 16 文字まで入力できます。

DICOM AE テキスト入力ボックス

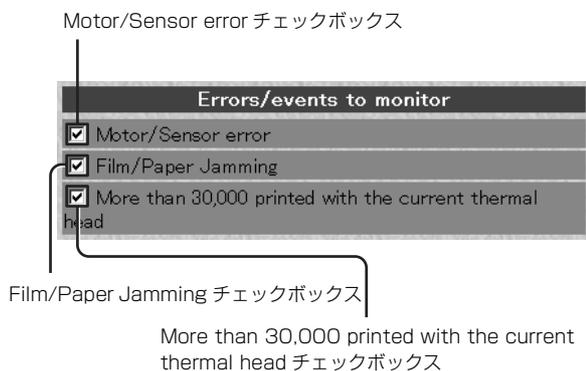


- 4 Save settings ボタンをクリックする。

メールを設定する

UP-D77MD にエラーが発生したとき、メールを自動的に送るように E-Mail settings ページで設定しておくことができます。

- 1 E-Mail settings ページを開く。
開きかたについては、「セットアップ画面を開く」(35 ページ) をご覧ください。
- 2 メール発信の条件を設定する。

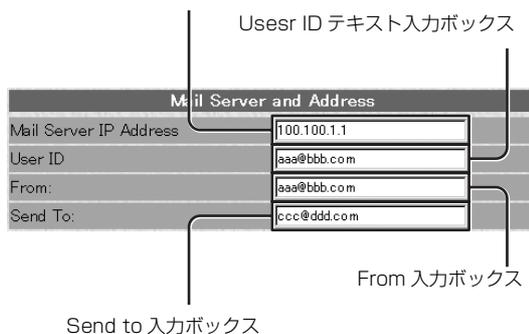


メールを受け取りたいエラーに該当するチェックボックスにチェックを付けます。

エラー項目	内容
Motor/Sensor error	モーター／センサー系にエラーが発生したとき
Film/Paper Jamming	プリント紙が詰まったとき
More than 30,000 printed with the current thermal head	サーマルヘッドのプリント枚数が 30,000 枚を超えたとき

- 3 メールに関連する設定を行う。

Mail Server IP Address テキスト入力ボックス



テキスト入力ボックスにアドレスを入力します。

入力項目	内容
Mail Server IP Address	メールサーバーのアドレス ^{a)}
User ID	ユーザー ID
From	メールにエラーが発生したときの戻りアドレス
Send to	メールの送信先のアドレス

a) IP アドレスは数字のみを使用します。

- 4 Save settings ボタンをクリックする。
設定が保存されます。

セットアップ完了後の動作確認

すべての設定が完了したら

UP-D77MD の電源を切り、設定用パーソナルコンピューターと UP-D77MD の接続をはずします。セットアップ画面ですべてのセットアップが完了したら、正しくセットアップされたか確認をしてください。

- 1 UP-D77MD をネットワークに接続する。
- 2 UP-D77MD の電源を入れる。
- 3 プリント紙の入った給紙トレイ、排紙トレイとインクリボンカセットを取り付ける。
- 4 モダリティーから画像データを送る。
プリントが開始されます。

画像データが送られてこなかった場合には

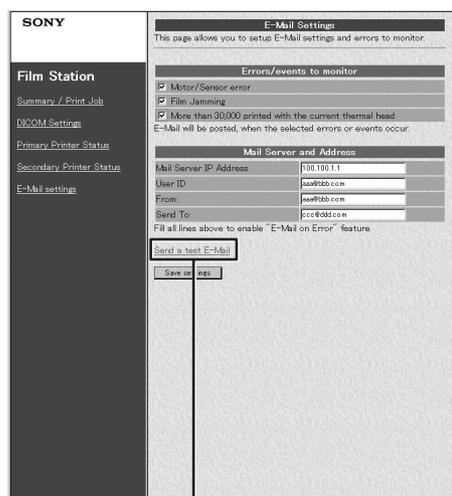
IP アドレス、モダリティー側などの設定が正しいか確認してください。

メールの設定も行った場合には

メールの設定の確認も行ってください。

- 1 E-mail settings をクリックして E-mail settings ページを開く。
設定が終了した後開くと、画面に Send a test E-Mail ボタンが新たに現れます。
- 2 Send a test E-Mail ボタンをクリックする。

テストのためのメールが発信されます。



Sent a test E-Mail ボタン

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>